

『旭山動物園のこと』

8月の終わり、北海道の旭川市に行ってまいりました。今年2度目の北海道、ゆっくりした夏休みとなりました。目的は3月まで同じ職場で働いていたA先生に逢い、激励すること。先生はこの春から大学で教鞭をとってみえます。中部国際空港から旭川空港へ、直行便で向かいました。旭川の気温は34度。例年がない、暑い北海道旅行となりました。A先生の研究室を訪ねましたが、扇風機が回っているだけ。大学のような施設ではエアコンは少なく（例年ですとこの時期は涼しい秋風の季節）研究どころではない状況となっていました。

8月26日お目当ての旭山動物園を訪ねました。生きている動物たちの博物館で、他の動物園とはちょっと違った展示になっていました。まず、檻の中でも自然の状況に近く、草むらの中で飼われている動物がいました。動物たちの動きが見やすくなっていました。地面や水槽が透明ガラスとなっていて、下から上から横から動物たちの寝そべっている様子、食事をしている様子、排せつしている様子、喧嘩をしている様子を覗くことができました。

カバの百吉君と対面できました。とにかく大きく、草をよく食べます。うんこやおしっこをばら撒きます。カバ独特の臭いがしました。水槽の中で、上手く泳ぐ姿も見ることができました。そして人気のペンギンです。残念ながら噂のウォーキングは見ることはできませんでしたが、水槽の真下を歩きペンギンが頭の上を飛んでいくのを見たり、通路にふくらんだ水槽があり、間近にペンギンが泳ぐ姿、餌を食べる姿を見たりできました。まさに旭山のペンギンは飛ぶペンギンということが良くわかりました。坂を下りながら、一方通行で見学できました。それぞれの禽舎には職員の方の手作りの案内板や近隣の小・中学生が制作した見学のまとめが掲示してありました。手作り感のある掲示がいっぱいでした。展示の工夫で、これだけ身近に動物を見ることができました。

ちょうど動物園の坂を半分降りた辺りには、この動物園の飼育係であった絵本作家あべ弘士さんの展示室兼ミュージアムショップがありました。見学の途中であべさんの動物の作品を楽しむことができました。有名な『あらしの夜に』の絵本を見ました。その他ひぐま・ライオン・おおかみが描がかれた絵本がありました。ちょっとした思いつき、アイデアが園全体を大きく変えていくということがよくわかる一日でした。

水浴びてカバへ垂れ込む残暑かな

令和5年9月4日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視